

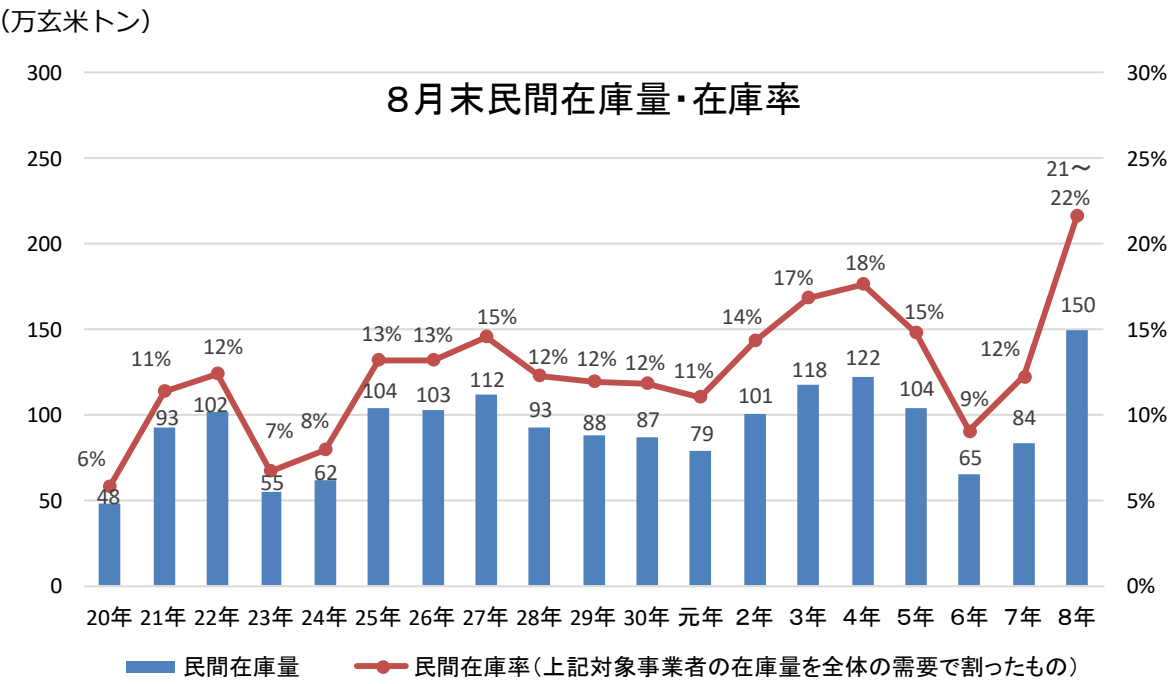
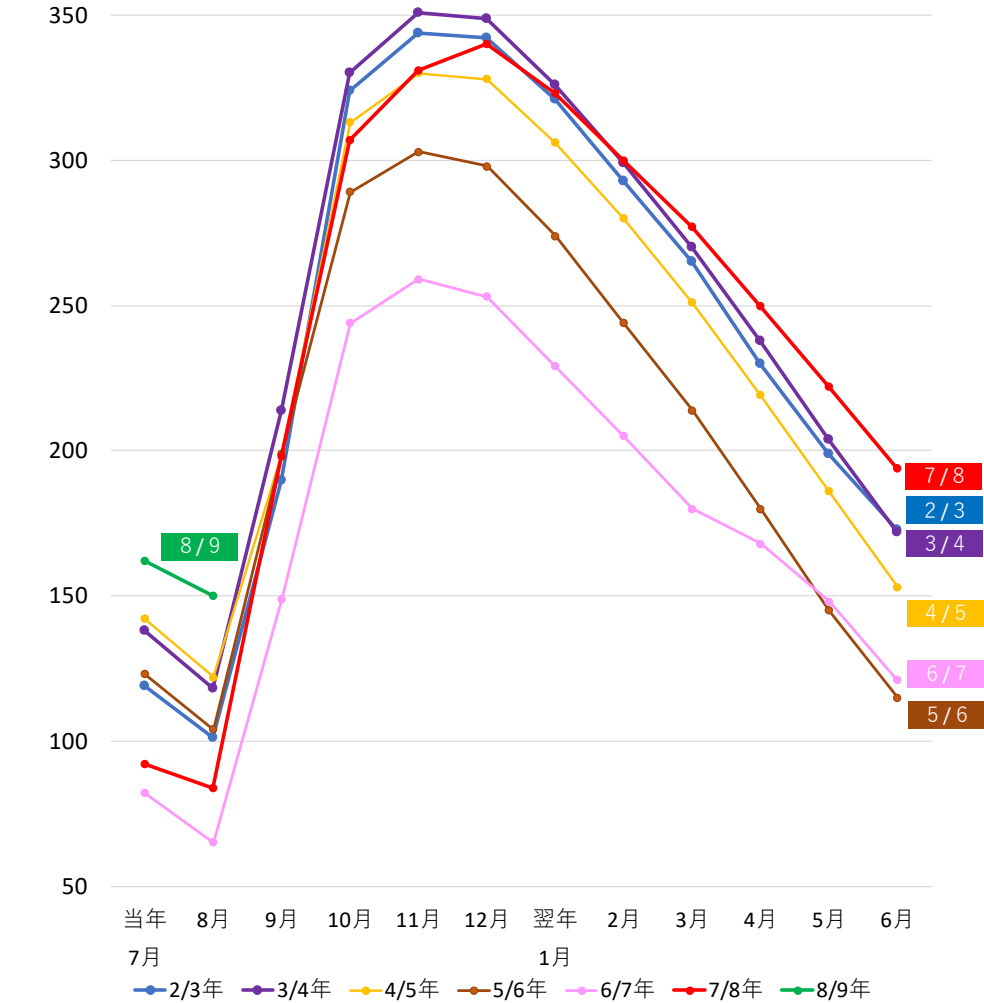
令和 8 年 8 月末民間在庫量のポイント

- 令和 8 年 8 月末の民間在庫量は対前年同月 + 66 万玄米トンの 150 万玄米トンと、最も高い在庫水準。
- 段階別にみると、出荷段階は 108 万玄米トン、販売段階は 42 万玄米トンであり、販売段階の在庫量は例年の同時期（20～30 万トン程度）に比べ高い水準で推移。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）
(万玄米トン)

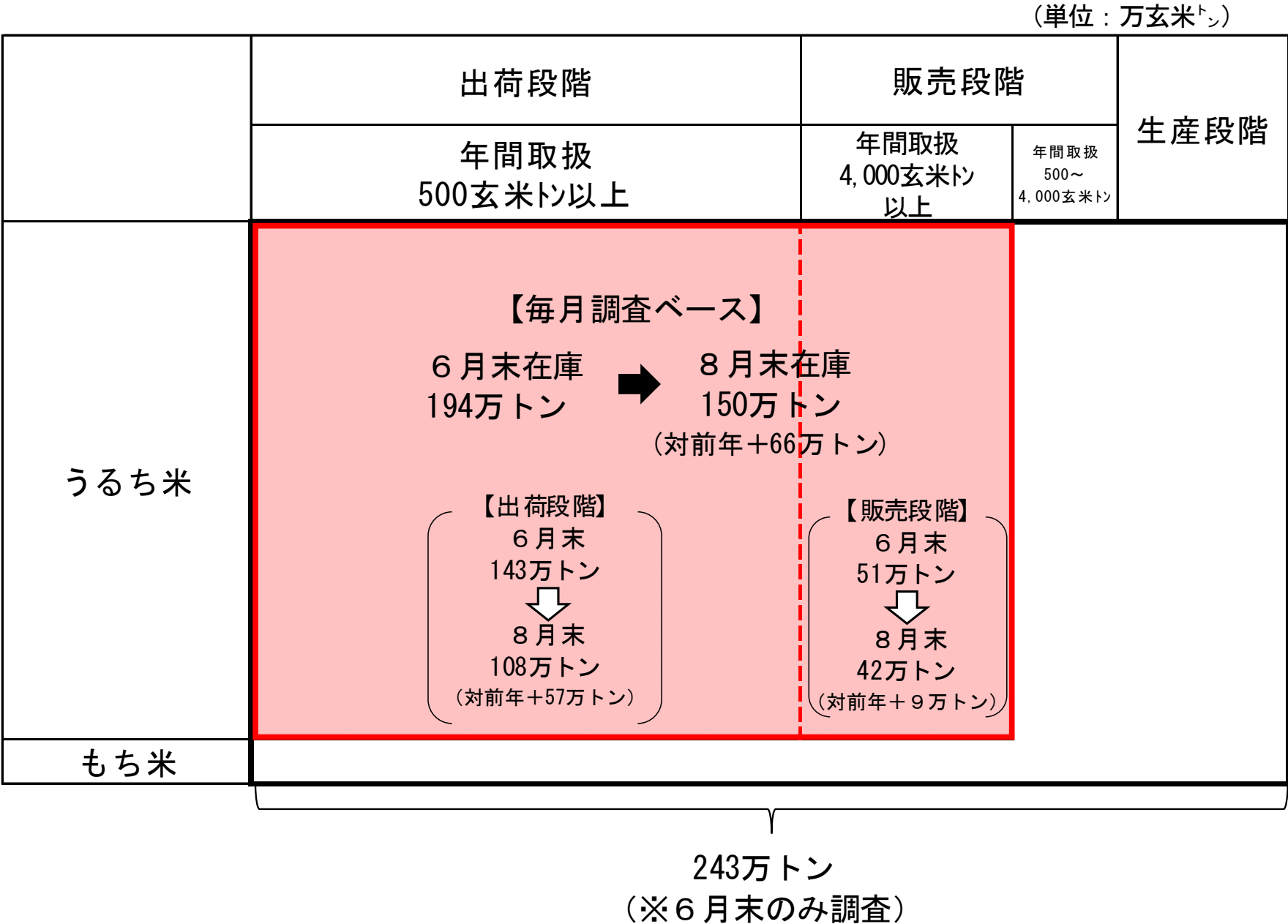
	出荷段階	販売段階	合計
7 年 8 月末	51	33	84
前年差	+7	+12	+19
8 年 8 月末	108	42	150
前年差	+57	+9	+66

○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）
(万玄米トン)



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等を対象。
※令和 8 年の在庫率は、8 / 9 年の需要見通し（693～711 万玄米トン）により算出。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲



※毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の出荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。
およそ民間の流通在庫全体の80%（194万トン）をカバー。